

令和2年度

# 美馬市立木屋平小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な学力の定着を図り、自主的・主体的に学習に取り組む児童を育成する。
- 学ぶ楽しさや喜びを感じる少人数学級指導の工夫を図る。

## 学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長



### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や方策の掲示など常に意識し確認できる環境づくりによって取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的知識や技能は定着しつつある。体験学習を通して、知識・技能を活用しようとしている。 ●知識を関連づけたり技能を組み合わせたりする応用力に課題がある。読解力も弱い。	・習った知識や技能を活用しながら、学習課題や日常生活の課題に取り組んで解決することができる。 ・文章を正しく読み、内容を理解することができる。	・知識や技能を関連づけできるように、発問や場の設定を工夫する。 ・主語述語の関係に気を付けて読んだり、分かっていることに線を引いたり、読み方の練習を各教科で繰り返し行う。 ・少人数の特性を生かし、理解に課題がある点は、くり返しドリル学習を行う。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを伝えたり、相手の話をしっかり聞いたりすることはできる。手紙を書いたり挨拶を言ったりして気持ちを表現することもできる。 ●必要な情報を探したり、新しい考えをまとめたりすることに課題がある。	・図書やICTを使って、必要な情報を得たり探したりすることができる。 ・探した情報を正しく分析し、それを基に自分の考えや思いを表現することができる。	・ホワイトボードやICTを活用して、効果的な発表や話し合いを各授業で行う。 ・週1回程度高学年児童や教師による読み聞かせをする。 ・ICTで視覚的に教材を提示し、操作させて表現力を育む。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○様々なことに対する興味・関心が高く、進んで活動することができる。学習態度も落ち着いている。 ●学びを積極的に活用することに課題がある。また、家庭学習が定着していない児童もいる。	・課題や自主学習にめあてをもって取り組むことができる。 ・他教科で学習したことを活用しながら課題を解決することができる。	・毎時間めあてを提示し、学びの方向性を示す。 ・各学年に応じた振り返りの視点を示し、記号や記述により振り返らせる。 ・家庭と連携し、家庭学習への取り組みを促す。			

### 令和2年度 学力向上ロードマップ

